



バーナード・リーチ我孫子築窯100周年記念事業

我孫子市ゆかりの人であるイギリス人陶芸家「バーナード・リーチ」の生誕130年・築窯100年を迎える記念の年に特別企画展や講演会など、様々なイベントを実施し、我孫子の魅力を発信します。

バーナード・リーチ展では、柳宗悦邸内の我孫子窯が焼失した際に残ったリーチの代表作品「楽焼駆兎文皿」（らくやきくともんざら）」（日本民藝館所蔵）、また、初公開となる我孫子滞在中の大正7（1918）年にバーナード・リーチが制作したエッチング「手賀沼」（白樺文学館所蔵）などを展示します。

初公開となるエッチング「手賀沼」は版違いの作品が、昭和50年、国賓として来日した英国女王エリザベス二世陛下、王配エディンバラ公フィリップ殿下より香淳皇后へ贈られています。

また、来年1月、バーナード・リーチを題材とし我孫子時代の生活が描かれている小説『リーチ先生』（2016年10月出版）で、第36回新田次郎文学賞（新田次郎記念会主催）を受賞した原田マハ氏の講演会を実施します。同賞の名称になっている新田次郎もまた我孫子にゆかりの深い作家で、布佐出身の気象学者岡田武松とともに勤務した際、一時、我孫子市布佐に住んでいました。

【バーナード・リーチと我孫子】

リーチはイギリス人、1887年香港で生まれました。父は弁護士で、母は出産後すぐに死去。そのため幼児期は祖父に引き取られ、日本で過ごしました。1909年に再来日を果たし、1916年に柳宗悦に誘われ、我孫子に築窯します。

今からおよそ100年前の大正時代、我孫子で白樺派とともに活動し、のちに民藝運動に多大な影響を与え、陶芸を通じて東洋と西洋の架け橋となりました。初めて本格的な窯を築いた我孫子は陶芸家リーチの活動の原点であり、我孫子にとって極めて重要な人物です。

1917年（大正6年）から1919年（大正8年）の間、我孫子の柳宗悦邸内の我孫子窯で、陶芸に励みました。

滞在期間は短いものでしたが、我孫子時代のことを、「私の生涯で最も幸福だった年が始まった」と回想しています。

<イベント内容>

◎ バーナード・リーチ展

- 日 時：11月30日（木）から平成30年2月4日（日） 場所：白樺文学館
 - 展示内容：陶器9点、額入り素描1点、書簡3点、画像3点ほか
- ※ 展示会開催中、学芸員による展示解説（ギャラリー・トーク）も行います。

【報道関係者等の内覧会】

- 日 時：11月29日（水）午後2時～4時

◎ 特別講演会：「リーチを追いかけて - 『リーチ先生』創作のプロセス」… 原田マハ氏

- 日 時：平成30年1月28日（日） 場所：アビスタ

◎ 絵付け体験：「親子でリーチの絵付けに挑戦しよう」

- 日 時：12月10日（日） 場所：アビスタ
- 市内在住の親子を対象に素焼き陶器（お皿一枚）に絵付け体験を行います。

◎ DVDの上映会

- 日 時：12月10日（日） 場所：アビスタ
- 旧柳宗悦邸修復工事の際に発見された、1953年に行われたバーナード・リーチ、河井寛次郎、濱田庄司、柳宗悦4人の座談会を記録したSPレコードの音源をもとに制作された映像（DVD）の上映（約23分）と学芸員によるバーナード・リーチについてのトークを行います。

◎ 講演会：「バーナード・リーチとセントアイヴス」… 井坂浩一郎氏

- 日 時：12月17日（日） 場所：アビスタ
- イギリスでのバーナード・リーチの活動に詳しいギャラリーセント・アイヴス代表取締役である井坂浩一郎氏の講演会を行います。

◎ 市内散策ツアー：「リーチの足跡を訪ねて」

- 日 時：12月17日（日）、1月28日（日）
- 市内に点在するリーチの足跡を訪ねます。
- コース：バーナード・リーチ碑→天神坂→三樹荘→嘉納治五郎別荘跡地→志賀直哉書齋→白樺文学館

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会 図書館

担当 穂村喜代子

☎04-7184-1110（内線61-255）

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

担当 鈴木 肇

☎04-7185-1583（内線70-820）